



# 「SDGs 今、未来のために」シリーズ企画

## ご提案書



2023年5月  
産経新聞社メディア営業局



産経新聞社は、国際連合と世界の主要報道機関などが連携する取り組み「SDGメディア・コンパクト」の一員として、新聞やデジタルなど自社媒体を通じて持続可能な社会の実現に向けた情報発信に力を入れています。

2015年9月の「国連持続可能な開発サミット」で、150を超える参加国の全会一致で「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」が採択されて8年目。

ゴールまで今まさに折り返し地点を過ぎようとしています。目標達成には程遠いのが実情です。

国連広報センターは昨夏に続き今年も、国内のメディア・コンパクト加盟社に共同キャンペーン「1.5度の約束」への参加を呼びかけました。加速度的に深刻化する気候変動に歯止めをかけるために、メディアが果たす役割に期待が寄せられています。

産経新聞は2022年より共通ワッペン「SDGs 今、未来のために」を用いながら、定期的な情報発信を強化しております。

本企画は編集特集と連動した広告を掲載することで、読者に自然なかたちで貴社のSDGsの取り組みを訴求することが可能です。読者ひとりひとりがSDGsを自分事化できるように、貴社とともに有益な情報を届けてまいりたいと願っております。企画趣旨ご賢察の上、ご賛同くださいますようお願い申し上げます。



## シリーズ企画 今後の展開スケジュール（予定）

### 【編集特集の掲載予定】 ※今後変更する場合があります

以下の記念日前後にて、シリーズ企画を展開予定です。貴社プロモーション活動のタイミングでぜひご検討ください。下記以外の日程についても弊社営業担当までご相談ください。

日程	記念日	特集内容案
7月17日	海の日	水資源保全の最前線
8月11日	山の日	持続可能な森林保全とは
9月1日	防災の日 関東大震災から100年	SDGsの観点から防災を紐解く
9月18日～25日	SDGs週間	SDGsの現在地
10月8日	水素・燃料電池の日	カーボンニュートラルに挑む
11月1日	教育の日	大学教育とSDGs 各校の取り組み
12月10日	世界人権デー	人権問題へのアクション
3月17日	みんなで考えるSDGsの日	2030年を見据えて 企業とSDGs

# 「SDGs 今、未来のために」企画概要

※本企画に掲載ご希望の際は、弊社営業担当にご相談ください。

【掲載媒体】産経新聞 全国版 朝刊（産経新聞電子版にも掲載）  
産経ニュース（SDGs特設ページ）

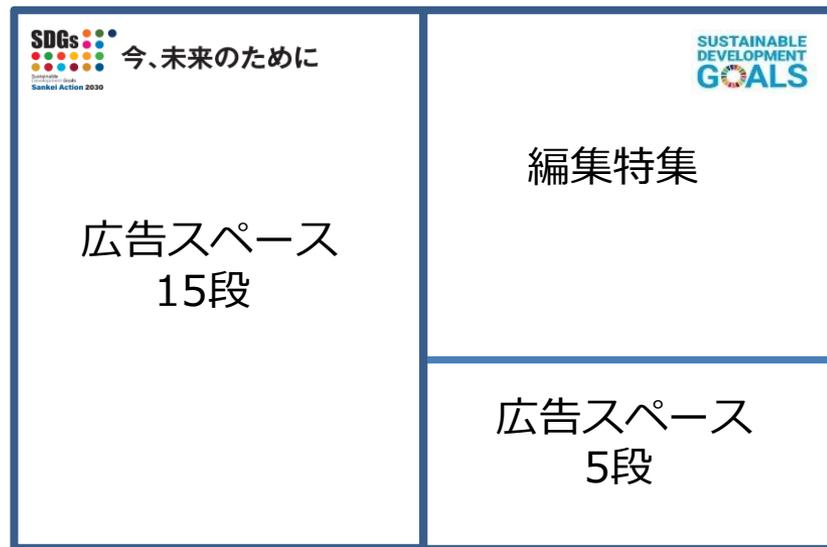
【編集特集】SDGs 17の目標について、識者への取材やイラストを交えて「各課題の背景」、  
「いまできること」、「いま取り組むべきこと」をわかりやすく伝えます。（事前確認および校正不可）

【広告展開】上記の記事展開時に隣接面に掲載可能です。  
※記事体広告の場合、共通ワッペン  
「SDGs 今、未来のために」を掲出可能です。

【広告スペース】（一例）  
①全15段（編集特集の対向面）  
②全 5段（編集特集の直下）  
※一部エリアがモノクロ掲載の場合があります。

【掲載日】 ご相談の上、調整します。

【掲載料金】 弊社営業担当にご相談ください。  
※純広告はデータ入稿をお願いします。  
※記事体広告の制作費は別途料金を頂戴します。  
※複数回実施の場合はご相談ください。



2頁～4頁の展開を予定

# 【オプション】「産経ニュース」スポンサードコンテンツ展開

「産経ニュース」内に、産経新聞に掲載した「SDGs」関連記事を集める特設ページを開設しました。

▼産経ニュース特設ページはこちら▼

新聞に加えて、デジタルでの情報発信も強化してまいります。

※本企画は、貴社の記事体広告をご出稿いただく場合、デフォルトでページ内に転載します。（要、PR表記）

オプションとして、別途「スポンサードコンテンツ」の展開もございますので、ぜひご活用ください。



プラン	想定PV数	掲載料金	誘導期間
スタンダード	3万PV想定	3,000,000円 ※制作費含む	4週間
ライト	1万PV想定	1,500,000円 ※制作費含む	1～2週間

記事や誘導枠にスポンサードまたはPR表記が入ります。

- ・文末に提供会社名を明記します
- ・見出しは更新ごとに位置が下がります。
- ・記事の扱い（大きさなど）は一切指定できません。弊社に一任していただきます。
- ・本商品は誘導枠の表示回数を保証するものではありません。

また、誘導枠に関するレポートは提出しておりません

- ・詳細については【メディアシート】産経ニュース内「エディトリアル広告のご注意点」を必ずご確認ください。

# 掲載事例① 住友不動産様・五島育英会東京都市大学様

SDGs Sustainable Development Goals

Sankei Action 2030 今、未来のために

一信用も創造も 住友不動産

Re-innovation ビルから始まるサステナブル 不朽の名建築「新宿住友ビル」

東京・西新宿、断面が三角形のユニークなデザインから「三角ビル」と呼ばれる新宿住友ビル。2020年6月、全面的なリノベーションを終え、低層部に最大二千人収容の全天候型イベントスペース「三角広場」が誕生した。なぜ建て替えるのではなく、あえてリノベーションという手法を選んだのか、なぜ「三角広場」が必要だったのか——。そこには地球と人を守る心があった。



原風景の記憶を継ぎ、革新性を加え大規模な改修を進める

全米建築のつくりかたを再考

住友不動産とSDGs

住友不動産は、社会課題の解決と、持続可能な社会の実現に向けて、SDGsの達成を推進しています。特に、環境・社会・ガバナンスの3つの分野に重点を置き、持続可能な社会の実現に貢献しています。

住友不動産のSDGsへの取り組み

住友不動産は、SDGsの達成に向けて、様々な取り組みを行っています。例えば、環境分野では、省エネ設備の導入や、再生可能エネルギーの活用などを行っています。社会分野では、地域貢献活動や、人材育成などを行っています。ガバナンス分野では、透明性の高い経営の実現や、株主への還元などを行っています。

住友不動産のSDGsへの取り組みは、社会課題の解決と、持続可能な社会の実現に貢献しています。今後も、SDGsの達成に向けて、様々な取り組みを推進してまいります。

PR (住友・朝日) 産経新聞社メディア営業課

https://www.sumitomo-rd.co.jp/sustainability/

Sustainable Development GOALS

海洋プラスチック 生態系に影響

800万トン 回収難しい「厄介者」 身近な対策で減少

2050年 海洋プラスチックの総量は、現在の約10倍に達する

27倍 海洋プラスチックの総量は、現在の約27倍に達する

食物連鎖

河川

海

海中

海洋プラスチックは、河川から海へ流れ出し、海中に漂って生態系に影響を与えます。また、海洋生物が誤って摂取することで、食物連鎖を通じて生態系全体に影響を与えます。

建設の精神「公正」「自由」「自治」のもと、持続可能な社会発展をもたらすための人材育成と学術研究に邁進します。

東京都市大学は、「環境問題と社会発展をもたらすための人材育成と学術研究」を理念に掲げ、27の学部・学科を擁する総合大学として、持続可能な社会の実現に向けて学術研究と人材育成に取り組んでいます。

東京都市大学は、1929年創立。科学を基盤に持続可能な社会発展を、東京都大学は2022年に創立100周年を迎えます。

東京都市大学 SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

THE SANKEI NEWS

トップ 選報 社会 政治 国際 経済 スポーツ エンタメ ライフ

皇室 暮らし トラベル からだ 教育 学術・アート 本 将棋 囲碁 科学 環境

SDGs Sustainable Development Goals

Sankei Action 2030 今、未来のために

電帳法改正で書類の電子化ニーズ拡大 クラウドで一元管理/M/S

入選作品は国立新美術館展示/アートサロン絵画大賞展作品集

不朽の名建築「新宿住友ビル」 ビルから始まるサステナブル

2022/9/16 16:33

ライブ | 暮らし | SDGsの今、未来のために

反応

東京・西新宿。断面が三角形のユニークなデザインから「三角ビル」と呼ばれる新宿住友ビル。2020年6月、全面的なリノベーションを終え、低層部に最大二千人収容の全天候型イベントスペース「三角広場」が誕生した。なぜ建て替えるのではなく、あえてリノベーションという手法を選んだのか、なぜ「三角広場」が必要だったのか——。そこには地球と人を守る心があった。



東京・西新宿。断面が三角形のユニークなデザインから「三角ビル」と呼ばれる新宿住友ビル。2020年6月、全面的なリノベーションを終え、低層部に最大二千人収容の全天候型イベントスペース「三角広場」が誕生した。なぜ建て替えるのではなく、あえてリノベーションという手法を選んだのか、なぜ「三角広場」が必要だったのか——。そこには地球と人を守る心があった。



2022年6月22日付 産経新聞全国版朝刊

産経ニュースで配信

## 気候変動対策 待ったなし



### 加速するカーボンニュートラルの動き

SDGsの目標13「気候変動に具体的な対策を」は、持続可能な開発目標の中で最も注目を集めている。気候変動対策は、SDGsの他の目標とも密接に関連している。例えば、目標7「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」は、再生可能エネルギーの導入を促進し、温室効果ガスの排出を削減するために不可欠である。また、目標9「産業とインフラストラクチャの革新と包摂的成長」は、省エネルギー技術の開発と導入を促進し、産業部門からの温室効果ガス排出を削減するために不可欠である。

### 1.5℃の約束

地球温暖化による気温上昇を抑えるため、国際的なパリ協定で1.5℃の約束が掲げられています。

パリ協定は、2015年12月に採択された気候変動に関する国際条約であり、2020年以降の気候変動対策の枠組みを定める。協定は、2050年までに世界の平均気温の上昇を1.5℃未満に抑えることを目指すことを約束している。また、2030年までに温室効果ガスの排出量を2019年の水準から45%削減し、2050年にカーボンニュートラルを実現することを約束している。

富士紡ホールディングスは、この約束を達成するために、再生可能エネルギーの導入、省エネルギー技術の開発と導入、カーボンニュートラルの実現に取り組んでいます。

### 温暖化防止のためのマテリアリティ

環境への影響、社会への影響、経済への影響

- 2021年 2月: 産業用施設での火災発生
- 2021年 2月: 車両部品入庫室で発生した火災
- 2020年 11月: 工場での火災発生
- 2020年 11月: 工場での火災発生

## 衣類のリユースでパラスポーツを応援しよう!

ふくわプロジェクトは、皆さまに寄付していただいた着る衣類をリユースし、その収益金で5つのパラスポーツ競技団体を応援しています。収益金は日本代表選手団のユニフォームの制作費などとして使われています。クローゼットに眠る衣類を寄付してあげませんか。

**ふくわは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています**

- 多様な学びの機会を提供
- 障がい者の雇用促進
- 衣類のリユース
- CO<sub>2</sub>排出の削減
- パートナーシップの活性化

**富士紡ホールディングスはふくわプロジェクトを通じて、持続可能な社会の実現への貢献を目指します**

主催 | 産経新聞社 | オフィシャルパートナー | FUJIBO | 後援 | 株式会社フジ紡績

お問い合わせ先 | ふくわプロジェクト事務局 | fukunowa-pj@sankei.co.jp | 詳しくはふくわホームページへ | ふくわプロジェクト

# 掲載事例③ 東京ガス様

**SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS**

**温暖化解明に挑む科学の力**

2022年に世界各地で発生した地球温暖化の影響が考えられる主な異常気象

13 気候変動

1.5度の約束

気候変動は、地球の平均気温を約1.5度上昇させ、深刻な影響をもたらす可能性がある。科学者は、気候変動の原因を明らかにし、その影響を軽減するために努力している。

**SDGs** 今、未来のために

**脱炭素社会の実現に向け、実証試験も着々と進行 東京ガスが推進する「メタネーション」開発**

東京ガスは、2050年のカーボンニュートラル（温室効果ガス実質排出ゼロ）に向け、私たちの暮らしの身近でも取り組みが進展している。その一つが、水素と二酸化炭素（CO2）から都市ガスの主成分であるメタンを合成する「メタネーション」だ。今回は、実証試験も着々と進行する東京ガスの最新の取り組みを伝えた。

**既存インフラが活用でき水素製造に再エネルギー利用も**

日本は2050年までに「カーボンニュートラル」を実現する目標を掲げ、社会のさまざまな分野で取り組みを推進している。私たちの暮らしを変えるエネルギー分野では、都市ガスの主成分であるメタンガスを製造する「メタネーション」が注目されている。

東京ガスにおいても、カーボンニュートラル社会を日進月歩で、メタネーションが「ガス自体の実質的な脱炭素化」の中心と捉えている。その背景としては、メタネーションで製造される「e-methane（e-メタン）」（合成メタン）は、都市ガス送配やガス機器など、既存のインフラや設備を最大限活用することが可能で、社会的に過剰コストを抑えて脱炭素化を実現する有効な手段となることがあげられる。

トップ 経済 社会 政治 国際 経済 スポーツ エンタメ ライフ

**SDGs** 今、未来のために

大阪大学大学院国際関係学専攻のセミナー一歩紹介！

12/7(水)開催 産経主催脱炭素オンラインセミナー参加者募集中

**東京ガスが推進する「メタネーション」開発 脱炭素社会の実現に向け、実証試験も着々と進行**

2022/11/6 17:09

ライブ | 写真 | **SDGs** 今、未来のために



東京ガスが推進する都市ガスのメタネーション施設

2050年のカーボンニュートラル（温室効果ガス実質排出ゼロ）に向け、私たちの暮らしの身近でも取り組みが進展している。その一つが、水素と二酸化炭素（CO2）から都市ガスの主成分であるメタンを合成する「メタネーション」だ。今回は、実証試験も着々と進行する東京ガスの最新の取り組みを伝えた。

**既存インフラが活用でき水素製造に再エネルギー利用も**

日本は2050年までに「カーボンニュートラル」を実現する目標を掲げ、社会のさまざまな分野で取り組みを推進している。私たちの暮らしを変えるエネルギー分野では、都市ガスの主成分であるメタンガスを製造する「メタネーション」が注目されている。

東京ガスにおいても、カーボンニュートラル社会を日進月歩で、メタネーションが「ガス自体の実質的な脱炭素化」の中心と捉えている。その背景としては、メタネーションで製造される「e-methane（e-メタン）」（合成メタン）は、都市ガス送配やガス機器など、既存のインフラや設備を最大限活用することが可能で、社会的に過剰コストを抑えて脱炭素化を実現する有効な手段となることがあげられる。

# 掲載事例④ 伊藤忠商事様・富士紡ホールディングス様

**SDGs** 今、未来のために  
回収からリユース・リサイクルまで  
**循環型経済の実現へ**

**伊藤忠商事繊維カンパニー繊維原料部長 下田祥朗氏**  
×  
**ecommit CEO 川野輝之氏**

**不要な衣類をポリエステル繊維に再生**  
伊藤忠商事「RENUプロジェクト」

**大塚地産解消システム構築 川野**

「捨てない」を選択肢に 下田

RENU

**「ファッションと環境」在り方探る**

**SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS**

**サステナブルな未来へ課題発信**

「ファッションと環境」在り方探る

衣類1枚製造に浴槽1杯分の水

**衣類のリユースでプラスポーツを応援しよう!**

衣類のリユースでプラスポーツを応援しよう!

富士紡ホールディングスはふのわプロジェクトを通じて、持続可能な社会の実現への貢献を目指します

産経新聞社 | オンラインパートナー FUJIBO | JAIFC

**SDGs** Sustainable Development Goals

今、未来のために

令和五年（2023年）初詣特集 歴史ある寺社を紹介！

【参加者募集中】産経主催/ハイブリッドワークセミナー1/24開催

**回収からリユース・リサイクルまで一貫体制 繊維・ファッションの循環型経済実現へ**

2022/12/27 09:56 PR

ライブ | 暮らし | SDG's 今、未来のために



セレクトショップ「エストネーション有楽町店」が設置している「Wear to Fashion」プロジェクトの回収ボックス

伊藤忠商事・下田祥朗氏 × ecommit・川野輝之氏 対談

繊維・ファッション産業の大量廃棄問題の解決に向け、伊藤忠商事が繊維製品の回収サービス「Wear to Fashion（ウェア・トゥ・ファッション）」をスタートした。サステナブル（持続可能）な再生原料を起点にバリューチェーン（価値連鎖）を構築する取り組みの一環で、全国の小売店や自治体にネットワークを持つ環境ベンチャーの



セレクトショップ「エストネーション有楽町店」が設置している「Wear to Fashion」プロジェクト

産経ニュースで配信

本企画のお問い合わせ先  
産経新聞社メディア営業局 各営業担当  
もしくは  
企画プロデュース部 ([ml.sankei-ad-contact@sankei.co.jp](mailto:ml.sankei-ad-contact@sankei.co.jp))

産経メディア営業局の最新情報はこちらをご覧ください。

SANKEI  
Media Lab



<https://adv.sankei.com/>

産経新聞社メディア営業局  
Twitter 公式アカウント



@Sankei\_SalesAdv

最新情報更新中！フォローお願いします！